

# ポルトガル

## 主要データ

国名〔英名〕	ポルトガル共和国 [Portuguese Republic]
面積 (km <sup>2</sup> )	92,090
海岸線延長 (km)	1,793
人口 (百万人)	10.8
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	117.3
GDP (百万 US\$)	229,336
一人当り GDP (US\$)	21,559
主要鉱産物：鉱石	銅、亜鉛、銀、タングステン
主要鉱産物：地金	鉛
鉱業管轄官庁	ポルトガル経済革新省傘下、地質・エネルギー総局 (DGEG : Direcção Geral de Energia e Geologia)
鉱業関連政府機関	-
鉱業法	有用鉱物を含む堆積物の採掘及び開発に関する法令 (法令第 90/90)、地下資源基本法 (法令第 88/90、1990 年 3 月 16 日制定)
ロイヤルティ	契約ごとに異なるが、鉱山生産価値に対して平均 2~4%。
外資法	100%投資可。但し、外国企業を優遇する税制上の制度は無い。
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	欧州の環境に関する EU 指令が年々厳格化されているため、政府は EU 基準に合わせて、探鉱活動や鉱山事業に関する法律の改正が行われている。ウラン探鉱の許可に関しての政府の決定が待たれる。
鉱業公社	-
鉱業活動中の民間企業	Lundin Mining、双日株等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lundin Mining 社の Neves-Corvo 鉱山で、鉱山労働者が賃上げを求め 2010 年 2 月と 3 月にストライキを実施。同年 5 月、同社が能力給制度を実施することで労働組合と同意した。</li> </ul>
2010 年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亜鉛価格の低迷が原因で 2008 年 11 月以降亜鉛生産を停止していた Neves-Corvo 鉱山で、生産を一部再開。</li> </ul>

## 1. 鉱業一般概況

ポルトガルの銅の鉱山生産量は、西欧では第 1 位 (世界銅生産の約 0.5%)、タングステン (世界生産量の約 0.9%) 生産量は欧州全体の約 20% を占めている。

2008 年の 11 月から亜鉛生産を停止していた Neves-Corvo 銅鉱山では、2010 年に亜鉛生産を一部再開しており、2011 年 Q3 までには年間 50,000t のフル生産を再開する予定である。DGEG によると、同じく 2008 年の 11 月から亜鉛生産を停止している Aljustrel 亜鉛鉱山は、2012 年には生産を再開する見通しである。

なお DGEG の担当者のお話では、2012 年末までにタングステン、鉄鉱石及び金の 5 つのプロジェクトに対して採掘権が付与される予定である。

## 2. 鉱業政策の主な動き

現行の鉱業法は、1990年に制定されて以降大きな変更はなく、2010年も鉱業法改正の動きは見られなかった。探鉱権については、期間は探鉱権1件につき最大5年間（延長を含む）、面積は1件につき1,000km<sup>2</sup>未満と制限されている。但し、鉱業における環境規制に関しては、年々厳格化するEU指令に合わせ改正が行われてきた。

同国にはウラン賦存が確認されているが、現時点ではウラン探鉱は許可されていない。DGEGによれば、ウラン探鉱の許可に関しては政府の決定を待っている状況である。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

### (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
銅(千t)	89.0	86.5	74.0	-14.5
亜鉛(千t)	38.8	0.5	5.6	11.2倍
銀(t)	28.8	22.5	23.7	5.3
タングステン(t)	994	832	735	-11.7

(出典：World Metal Statistics May 2011, World Metal Statistics Yearbook 2011)

### (2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
鉛(千t)	4.8	4.0	4.0	0.0

(出典：World Metal Statistics May 2011)

### (3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
銅(千t)	1.0	3.2	5.1	59.4
鉛(千t)	13.2	7.0	4.3	-38.6
亜鉛(千t)	18.3	12.0	15.2	26.7

(出典：World Metal Statistics May 2011)

### (4) 主要金属輸出入

表 3-4. 精鉱中含量・地金輸出入

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
銅精鉱(総重量)(千t)	375.8	371.9	305.5	-17.9	フィンランド、スペイン、ドイツ

(出典：World Metal Statistics May 2011)

### (5) 主要金属輸入量

表 3-5. 精鉱中含量・地金輸入量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
鉛地金(千t)	11.1	6.6	4.8	-27.3
亜鉛地金(千t)	19.6	12.8	15.4	20.3

(出典：World Metal Statistics May 2011)

#### 4. 鉱山・製錬所状況

##### ・Neves-Corvo 銅・亜鉛・銀鉱山

Neves-Corvo 鉱山は、イベリア黄鉄鉱帯の西部に位置する坑内掘鉱山で 1989 年に生産を開始して以来、欧州有数の銅鉱山として操業し、2006 年からは亜鉛の生産も開始した。

2008 年 11 月以降、同鉱山を操業する Lundin Mining 社は、亜鉛価格の下落が原因で、亜鉛生産を停止していたが、2010 年には生産を一部再開した。亜鉛生産能力の増強プロジェクトは予定通り進行しており、4,300 万・をかけた拡張工事は約 90%完了している。当初の計画では新規の亜鉛選鉱場の稼働後、2011 年末までに亜鉛年産量 50,000t のフル生産に達する予定であったが、銅価格の高騰を受けて、亜鉛選鉱場が完成した後、銅鉱石の処理に同選鉱場を使用する計画に変更した。

Lombador 鉱床開発の FS 調査は 2011 年 Q2 までには完了予定で、生産開始は 2013 年をめどにしている。また 2010 年 10 月、新たに Semblana 鉱床が発見され、試掘調査が行われている。

2010 年は、悪天候や銅鉱石の低品位化、賃上げ要求のストライキにより、銅地金の生産量は対前年比 14.4%減となり目標値の 75,000t を少し下回る結果となった。

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益: %)	鉱種	生産量 (t)	備考
Neves-Corvo	Lundin Mining (本社: Toronto) 100%	銅	74,011	・2010 年、亜鉛鉱石の生産一部再開。 ・悪天候と鉱石の低品位化、ストライキにより、銅地金生産が減少。
		亜鉛	6,422	
		銀 (oz)	725,260	
Aljustrel	MTO SGPS, SA (本社: Portugal) 100%	亜鉛	-	・2008 年 11 月以降は亜鉛価格の低迷により、鉱山設備メンテナンスを継続し、亜鉛生産を休止。価格が上昇すれば生産再開検討
Panasqueira	双日 (株) の子会社である Primary Metals 社 (本社: Vancouver) 100%	タングステン精鉱	1,364 ※	・2007 年 8 月、双日 (株) が Primary Metals 社との 友好的 TOB により 100%買収。 ・報道によると、現在 1,360t/年のタングステン精 鉱生産を 2013 年までに 2,000t/年に増大する計画。
		銅精鉱	198 ※	
		錫精鉱	25 ※	

(出典: 各社の年次報告書 2010)

※精鉱総量を示し、本統計はポルトガル地質エネルギー局 [DGEG] を参照。

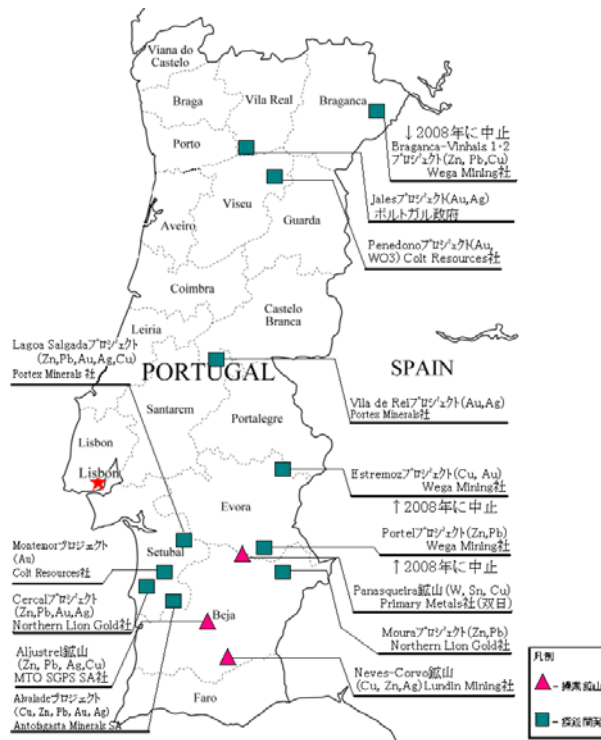


図 1. 主な操業鉱山・探鉱開発案件の位置図

## 5. 探鉱状況

- ・ Lagoa Salgada 鉛・亜鉛等の多金属探鉱プロジェクト (Portex Minerals 社 (本社: Toronto) 権益 100%) では、フェーズ 1 のボーリング調査を 2011 年 9 月に終了し、フェーズ 2 のボーリング調査も近いうちに開始予定である。
- ・ Montemor 金探鉱プロジェクト (Colt Resources 社 (本社: Montreal) 権益 100%) は 2010 年 8 月に Colt Resources 社が権益を獲得した後、2011 年 1 月にコンサルタント会社の SRK コンサルティング社に同プロジェクトの探鉱に関する技術報告書を作成するよう依頼した。その結果に基づいて、今後さらに広範囲にわたる探鉱を視野に入れていとされる。
- ・ Alvalade 銅・亜鉛探鉱プロジェクト (Avrupa Minerals 社 (本社: バンクーバー) 権益 90%) では、2011 年 6 月に同社と Antofagasta Minerals SA 社 (本社: Anaconda) が、今後 6 か月間で初期段階の探鉱を行うための覚書を締結した。Antofagasta Minerals SA 社が 30 万 US\$ を拠出して、探鉱を直ちに開始するとされている。

上記の他、現在探鉱活動が行われているプロジェクトには、Jales 金探鉱プロジェクト (ポルトガル政府)、Penedono 金探鉱プロジェクト (Colt Resources 社 (本社: Montreal) 権益 100%) 等がある。

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比
タングステン鉱石 (t)	0	0	20	-
タングステン酸化物 (t)	0	0	21	-

(出典: 財務省貿易統計データ)

### (2) 日本企業による投資状況等

上記のとおり、双日(株)が Panasqueira タングステン鉱山の権益 100% を有しており、2013 年に向けて今後タングステンの増産が期待されている。その他、日産自動車は 2011 年 2 月 11 日、ルノー・日産アライアンスが欧州で発売する電気自動車 (EV) 向けのリチウムイオン電池の生産工場の建設開始を発表した。日産の欧州子会社である欧州日産が 1 億 5600 万・を投資したリチウムイオン生産工場では、2012 年 12 月から年間 5 万台分の電池を生産する予定である。

## 7. その他トピックス

2010 年に、日ポルトガル修好 150 周年記念を迎えた。2010 年 11 月 20 日には伴野豊外務副大臣がポルトガルを訪問しロルティー外務副大臣と会談するとともに、日本文化紹介イベント「ジャパンウィーク」に出席した

2010 年の財政赤字は対 GDP 比 9.1% に悪化。2011 年 4 月、ソクラテス首相は欧州委員会に対して財政支援を要請し、同年 5 月、欧州連合 (EU)、欧州中央銀行 (ECB)、国際通貨基金 (IMF) と合意した財政健全化プログラムのもと、今後 3 年間で総額 780 億・の融資を受けることが決定した。同プログラムでは、大幅な歳出削減や増税を迫られており、少なくとも 2012 年まではマイナス成長が続くと見込まれている。(参考: 外務省ホームページ)

(2011. 8. 2 ロンドン事務所 北野由佳)